

平成 28 年 8 月 31 日 設 立 総 会 決 定 平成 30 年 8 月 30 日 名 称 変 更
--

第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会設立趣旨

第 80 回国民スポーツ大会本大会の招致については、県議会をはじめ、公益財団法人青森県体育協会等のスポーツ関係団体、関係各位の御尽力により、平成 28 年 1 月、公益財団法人日本体育協会から開催申請書提出順序の了解通知を受け、平成 37 年の本県開催が事実上の決定をみたところであります。

国民スポーツ大会は、昭和 21 年の第 1 回大会以来、わが国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を図るなど、明るく豊かな国民生活の発展に寄与してきました。

本県においては、昭和 52 年に「心ゆたかに 力たくましく」をスローガンに第 32 回大会「あすなろ国体」を開催し、「県民総参加の国体」を合言葉に、県民一丸となって結集し、大会を成功に導いたことは、本県のスポーツ振興はもとより、その後の県勢の発展にも大きく貢献してきました。

平成 37 年の本県での国民スポーツ大会の開催は、2 万人を超える選手・監督をはじめ、数十万人と想定される来県者が見込まれ、本県の自然・歴史・文化・食・物産等のあらゆる魅力を広く国民に伝える機会であると同時に、スポーツによる地域の活性化やスポーツを通じた健康づくりの推進、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるなど、本県にとって新たな活力の創出に繋がり、よりよい青森県をつくる大きな原動力となります。まさに、本県が目指す姿の一つである「スポーツが盛んな青森県」に直結する意義のある大会であります。

この国民スポーツ大会を成功させるためには、関係機関・団体、市町村並びに県が一丸となって、県民力を結集し、開催準備に取り組む必要があります。

よって、ここに各分野の代表者の参画を得て、第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会を設立し、諸準備に万全を期するものであります。

※開催内定及び改元により、「平成 37 年」を「令和 8 年」に読み替える。